埼玉県北・中部地域経済情勢と今後の展望

企業誘致が進む埼玉県。県内で進められている圏央道も近く開通し、ますます産業経済の活性化と地元の利便性が高まることが期待されている。埼玉県北・中部地域の経済情勢と今後の展望について、埼玉縣信用金庫の安田格理事長と、シンクタンクである埼玉りそな産業経済振興財団、ぶぎん地域経済研究所の主席研究員にそれぞれ聞いた。

先端系モノづくりと観光産業が発展のカギ

埼玉県の産業・経済を歴史的にけん引してきたのは養蚕業が盛んだった本庄市や足袋で有名な行田市、熊谷市、深谷市など県北・中部地域だ。近代日本経済の父、渋沢栄一（深谷出身）など産業偉人も多く輩出している。

圏央道沿いの企業誘致も進み、江崎グリコの菓子主力工場（北本市）や住宅用資材のYKKAP埼玉窓工場（久喜市）も稼働している。圏央道が港湾や空港的な役割を果たし、世界に向けて製品が出荷されている。日本の物流拠点、日本経済の中心となり、ますます利便性が高まるとみる。

今後は産業用地として残っている幸手市、久喜市などで産業集積の可能性が見込める。自動車産業や航空機産業などの先端系モノづくりと、県境を越えた広域連携で取り組む観光産業に力を入れるといいだろう。

地方自治体が進める大規模開発を利用するのも手だ。例えば、関越自動車道花園インターチェンジ（IC）付近に18年春に開業する巨大アウトレットモールや秩父鉄道新駅を整備する「花園インターチェンジ拠点整備プロジェクト」と世界遺産の「富岡製糸場と絹産業遺産群」、温泉など県外の観光地と連携すれば地域経済が活性化する。若い世代を呼び込むには助成金の充実も必要だ。職住接近に加え、子育て環境が整えば北・中部地域活性化策になるだろう。

（談）

ぶぎん地域経済研究所
調査事業部部長兼主席研究員
松本 博之氏

若い世代の生活環境の整備も重要

国立社会保障・人口問題研究所の「2040年の都道府県別人口推計」では、埼玉県の人口は、10年の719万人から40年に630万人に減少する。県北・中部地域は、高齢化も人口減少のスピードも速い。若い世代の流入・定住と次世代の育成により力を入れるべき地域といえる。

埼玉県は、圏央道をはじめとする高速道沿線では、大消費地に近いことが必要な食品産業や物流拠点が増えている。自動車産業もホンダの寄居工場の稼働に伴い新たな投資が生まれつつある。ただし、そこで働く人たちの所得水準が確保され、家族形成ができなければ次世代につながらない。

埼玉県は企業誘致を進めるとともに、若い世代が希望をもてる質の高い雇用の確保と生活環境の整備に取り組むべきだ。

加えて、高齢者人口の増加が見込まれ、東京都から溢れる高齢者の受け皿にならざるを得ない埼玉県は「高齢者の生活の質を上げつつ、働く若者が質の高い雇用を得られるビジネスモデルを確立・事業化すること」が次のビジネスチャンスになる。高齢者介護・福祉・医療サービスを最先端のハード、ITでシステム化してまねのできない価値と競争力をつけ、新興国に輸出するくらいの気概が必要だ。県南部と比べて豊かな空間のある県北・中部地域で、そのような取り組みがなされることを期待したい。

（談）

埼玉りそな産業経済振興財団
主席研究員
萩原 淳司氏

埼玉県熊谷市に本店を構える埼玉縣信用金庫。2014年度から新中期経営計画をスタートし、地域密着型金融を通じて地域活性化に貢献している。安田格理事長に埼玉県北・中部地域の経済状況などについて聞いた。

―埼玉県北・中部の中小企業の現状認識は。

「消費税率引き上げ後も個人の消費活動の底堅さは維持している。県内地域全体では景気の好循環が実感できるとはいえず、まだまだ課題を有している状況だ。県北・中部地域のお客さまへの貸出金状況は、昨年度に比べて増加に転じるなど資金需要面から景況感の改善基調がみられた。だが、当該地域の高齢化や人口減少は加速度的に進展する懸念があり、課題解決に向けた取り組みを進めたい」

―注力する取り組み、施策について。

「中小企業の課題を解決するための地域に根ざした質の高いサービスの提供は我々の使命だ。これを実践すべく2014年度より新中期経営計画を策定し、各種施策を行っている。県内で起業を考えるお客さま支援として『創業サポートデスク』や日本政策金融公庫と連携した『創業サポートサービス』を実施している。また『課題解決シート』を元にお客さまの課題を掘り下げて把握し、その解決策として本支店一体となって提案を行うべく『アクション50（課題解決のための50の提案）』を策定し、お客さまのライフステージに沿った具体的な活動を行っている。先端産業創出プロジェクトや共助社会づくりなど、県や地域団体との連携の強化拡充にも努めたい」

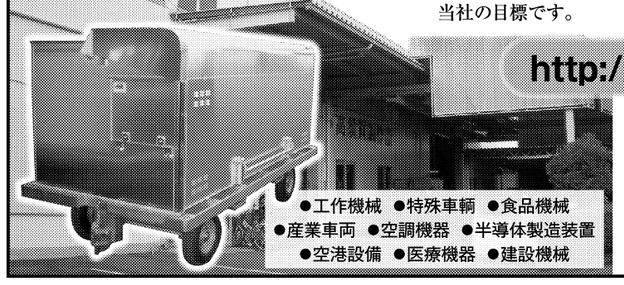
―7月22日に蓮田支店が新装開店しました。

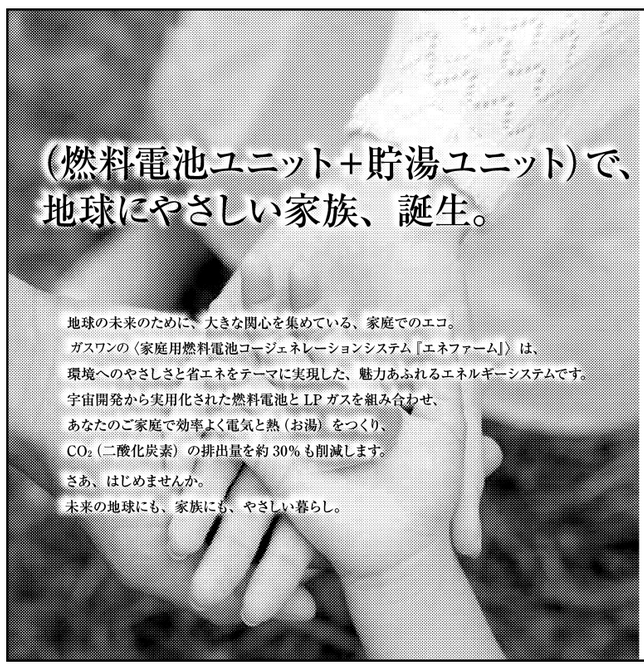
「埼玉県は首都圏でも大きな人口集積、バランスの取れた多種多様な製造業の集積など、経済活性化を図る上で多くの〝強み〟を有している。将来的な人口減少が予想されるものの、他県と比較して生産年齢人口の割合が高く、圏央道の開通といった流通面のインフラ基盤を考慮しても企業は人材と立地条件、交通の利便性からまだまだ発展の余地がある。当金庫は今秋には三郷支店の開設を予定している。良好な地盤のもと、埼玉県全域の店舗ネットワークを最大限に活かし、地域活性化に貢献していきたい」

埼玉縣信用金庫
理事長　**安田 格**氏

事業内容
・全自動化熱処理炉
・浸炭焼入炉
・真空熱処理炉
・精密部品の熱処理加工全般
・真空焼鈍　磁気焼鈍
・時効処理　液体化処理
・窒化処理およびステンレスの窒化処理
工場見学をどうぞ。最新設備のために。
ISO 9001 JQA-QM 3613　ISO14001 JQA-EM4699
彩の国工場 指定
白岡冶金株式会社
http://www.shiraokayakin.co.jp/
〒349-0203 埼玉県南埼玉郡白岡町下大崎869-1
TEL.0480(93)0234～5　FAX.0480(92)7253

創業40周年に感謝！ さらなる飛躍の年へ!!
―私たちはものつくりのプロ集団です―
上尾ものつくり協同組合 青年部会
会長 小島 誠【アイワ工芸㈲ 社長】
【事務局】
〒362-0014 埼玉県上尾市本町1-1-19
TEL 048-775-3007
FAX 048-772-7670
http://www.e-monotsukuri.com/seinenbu/index.htm

おかげさまで創業63年 総合板金加工メーカーが提供する感動
3次元設計から試作・部品加工・塗装・組み立て・検査までの一貫生産が当社の強みです。
ただ品物を納めるだけでなく、ものづくりを通じてお客様に感動を提供することが理念であり、当社の目標です。
http://www.takasuka-ss.co.jp/

●工作機械 ●特殊車輌 ●食品機械
●産業車両 ●空調機器 ●半導体製造装置
●空港設備 ●医療機器 ●建設機械
株式会社 高須賀製作所
ISO9001:2008 認証取得
感動製造業
レーザー加工
板金・溶接・製缶加工
3次元丸パイプ加工
〒362-0066
埼玉県上尾市領家1136-7
TEL.048-726-1400 FAX.048-781-1710
各種カバー関係の製作も承ります。


（燃料電池ユニット＋貯湯ユニット）で、
地球にやさしい家族、誕生。
地球の未来のために、大きな関心を集めている、家庭でのエコ。
ガスワンの〈家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」〉は、
環境へのやさしさと省エネをテーマに実現した、魅力あふれるエネルギーシステムです。
宇宙開発から実用化された燃料電池とLPガスを組み合わせ、
あなたのご家庭で効率よく電気と熱（お湯）をつくり、
CO_2（二酸化炭素）の排出量を約30%も削減します。
さあ、はじめませんか。
未来の地球にも、家族にも、やさしい暮らし。
ガスワンeco プロジェクト
Gas One
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム
ENE・FARM
エネファーム
エネファームとは
燃料電池実用化推進協議会によって決定された、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの統一愛称。「エネルギー」と「ファーム＝農場」の造語です。水素と酸素から電気と熱をつくるというシステムの内容が、水と大地で農作物をつくることと似ていること。さらには、自分のエネルギーは自分でつくるという、これからのエネルギーの考え方や、「家庭用燃料電池」は環境にやさしいというイメージを印象づけるために名づけられたものです。

燃料電池ユニット　貯湯ユニット
Gas One 株式会社サイサン　ガスワン サービスセンター 24時間365日受付
本社：さいたま市大宮区桜木町1-11-5 TEL.048-641-8211
東京本部：東京都港区新橋2-1-1 TEL.03-3539-3130
0120-41-3130
E-MAIL service@saisan.co.jp URL http://www.saisan.net